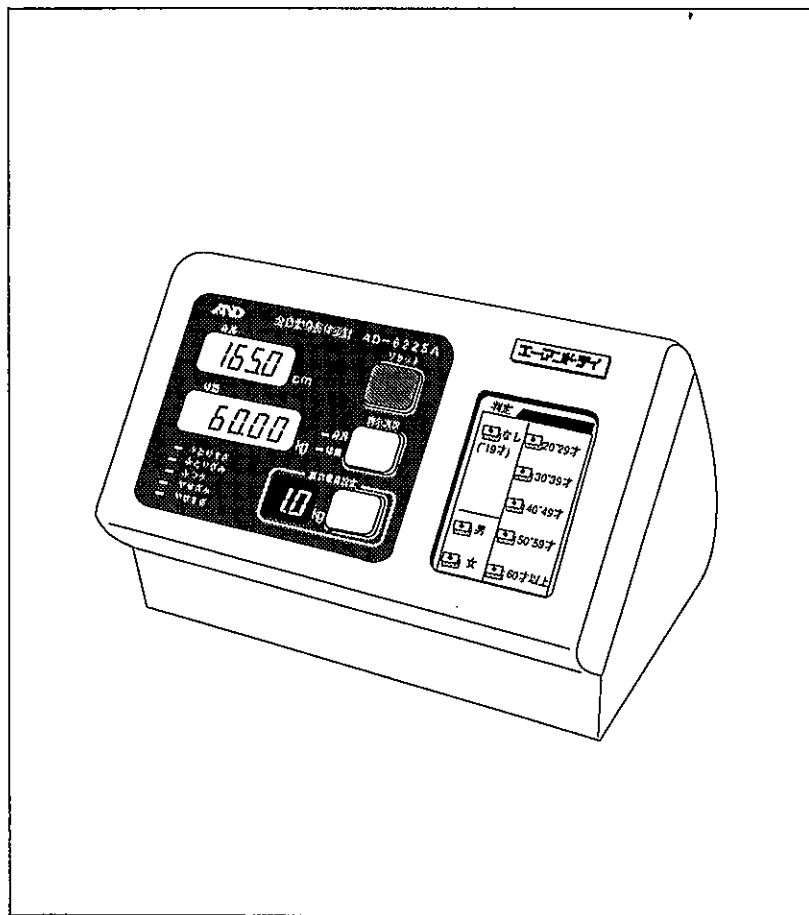


AD-6225A

全自動身長体重計

取扱説明書



AND 株式会社 **エーアンド・デイ**

v.2.b

1. はじめに

この度は、全自動身長体重計<AD-6225A>をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。AD-6225Aは、ロードセルによる高精度重量センサと、超音波センサによる高速測定を実現したモーター駆動の身長計測部を組み合わせ、全自動で身長、体重の測定を行います。

体重は0.05kg/0.1kg単位の切替えて250kgまで、身長は3段階切替えて120～220cm/100～200cm/60～160cmの範囲で測定できます。

また、厚生省策定（昭和61年）の「肥満とやせの判定表」に基づく肥満度判定を“ふとりすぎ”、“ふとりぎみ”、“ふつう”、“やせぎみ”、“やせすぎ”の5段階で表示しますので、日常の健康管理にお役立ていただけます。

RS-232C準拠のインターフェースを標準装備していますので、オプションのプリンタ又はコンピュータに接続することにより測定データの記録・処理も容易に行なえます。

注意

本書の内容に関しては将来予告なく変更することがあります。

本書の内容について万全を期して作成しましたが、万一御不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの事がありましたら御連絡ください。

また、上記にかかわらず運用した結果の影響について責任を負いかねますので御了承ください。

ご使用前に必ずお読みください。

使用上の注意事項（安全及び危険防止）

機器を正しく、安全にご使用いただくために、以下の各項を熟読した上で取り扱ってください。なお、ここに記載されている内容は、機器の安全な取扱いの他に、被測定者の安全についての一般的な事項をまとめたものです。機器特有の注意事項については、以降の本文中に記載してありますので、ご使用に先立ち取扱説明書をご一読ください。

1. 機器の設置場所および保管場所については、次の点に注意してください。

- (1)水のかからない場所。
- (2)高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所および埃分、硫黄分などを含んだ空気にさらされない場所。
- (3)傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などのない安定した場所。
- (4)化学薬品の保管場所やガスの発生しない場所。
- (5)機器の消費電力（周波数、電圧、電流）が充分供給できる医用（3P）コンセントが用意されている場所。
- (6)アース線が正しく確実に接続できる接地端子を備えている場所。

2. 機器を使用する前に次の点を確認してください。

- (1)機器が安全かつ正確に作動すること。
- (2)アース線が完全に接続されていること。
- (3)すべてのコードが正確かつ完全に接続されていること。

3. 機器の使用中は次の点に注意してください。

- (1)機器全般および被測定者に異常のないことを絶えず監視すること。
- (2)機器および被測定者に異常が発見された場合には、機器の作動を止めるなど適切な措置を講ずること。

4. 機器の使用後は次の点を確認してください。

- (1)定められた手順により操作スイッチなどを使用前の状態に戻した後、電源を切ること。
- (2)コード類を取り外すときは、コードを持って引き抜くなど無理な力をかけないこと。
- (3)付属品、コードなどは整理して保管すること。
- (4)機器は次回の使用に支障のないよう必ず清潔にしておくこと。

5. 機器が異常なときは、次のような処置をしてください。

- (1)被測定者から本器を取り外して、安全を確保すること。
- (2)機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜くこと。
- (3)機器に、「故障」「使用禁止」などの表示を行い、速やかに最寄りの当社営業所までご連絡ください。

6. 機器を勝手に分解したり、改造しないでください。

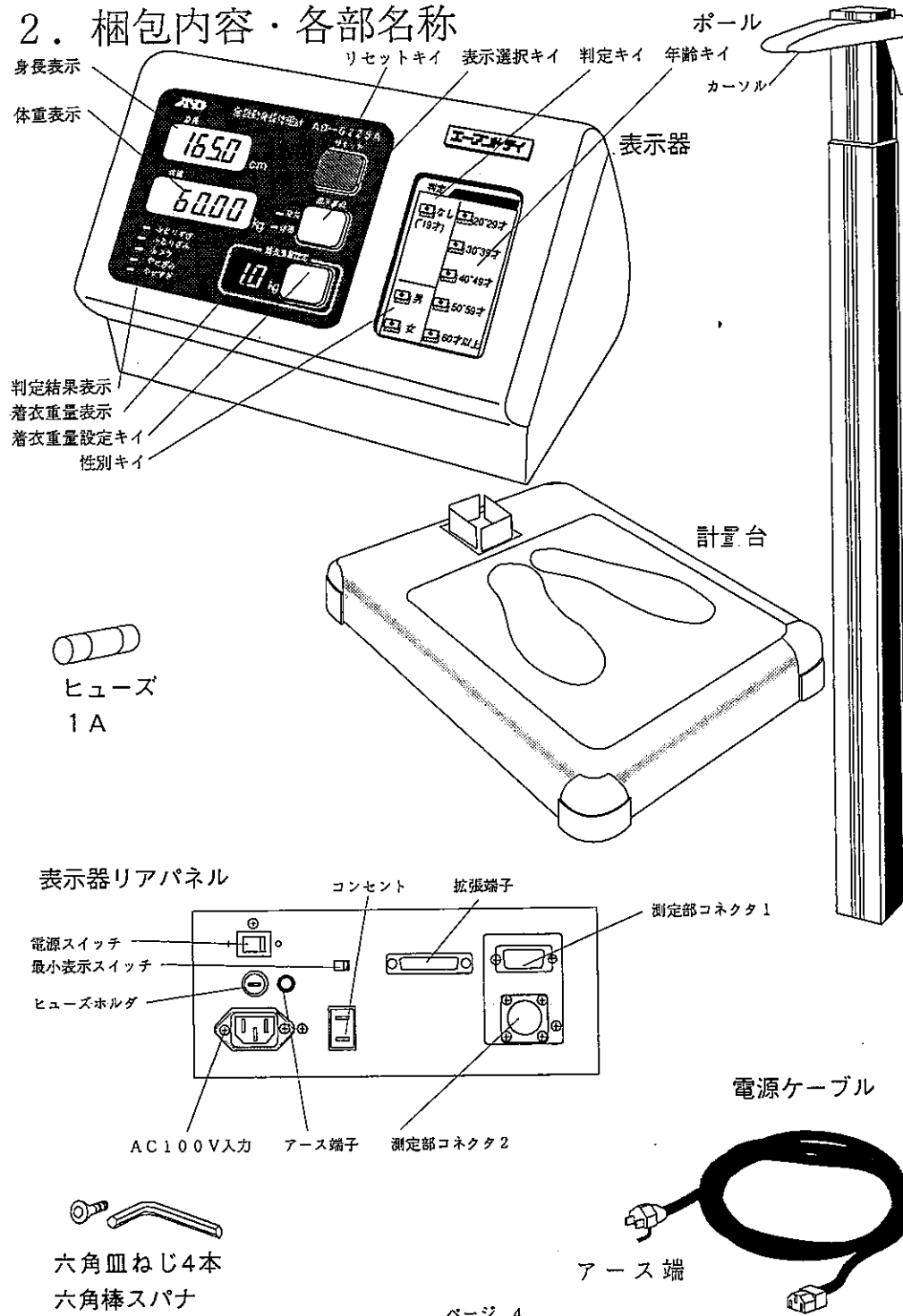
7. 保守点検については次の点に注意してください。

- (1)機器は必ず定期点検を受けること。
- (2)しばらく使用しなかった後再使用するときは、使用前に機器が正常にかつ安全に作動することを必ず確認すること。

目次

1. あいさつ	ページ	1
2. 梱包内容・各部名称	ページ	4
2-1 各部名称と用語の説明	ページ	5
3. 設置方法	ページ	6
4. 操作方法	ページ	7
5. 各種機能	ページ	10
5-1 重力加速度設定	ページ	10
5-2 ファンクション設定	ページ	11
5-3 肥満度判定	ページ	12
5-4 身長計測レンジの切り替え	ページ	12
5-5 表示ホールド	ページ	12
6. プリンタの接続	ページ	12
7. コンピュータ等の接続	ページ	14
8. エラー表示	ページ	15
9. お手入れ	ページ	15
10. 仕様・外形図	ページ	16
11. 肥満とやせの判定図	ページ	18
12. 重力加速度マップ	ページ	23

2. 梱包内容・各部名称



2-1 各部名称と用語の説明

計量台	: 体重を測定する台です。
キャスター	: 移動するときに使用します。ボールを持ち、斜めに倒して移動してください。
足コマ	: 設置時、計量台ががたつかないように調整してください。
ボール	: 身長測定部が入っている柱です。
カーソル	: モーターにより移動し、身長を測定します。
超音波センサ	: カーソルが頭部に接近したことを検出し、速度を調節します。

表示器	
表示器パネル	
身長表示	: 身長を表示します。
体重表示	: 体重を表示します。
判定結果表示	: 肥満度判定を表示します。
着衣重量表示	: 着衣重量を表示します。
リセットキー	: 各部を測定可能な状態に戻します。
表示選択キー	: 表示させるデータを選びます。
着衣重量設定キー	: 着衣重量を設定します。
性別キー	: 性別を設定・表示します。
年齢キー	: 年齢を設定・表示します。

表示器リアパネル	
電源スイッチ	: 電源のオン・オフを行ないます。
最小表示スイッチ	: 体重の最小表示を選択します。
AC100V入力	: 付属の電源ケーブルを接続します。
アース端子	: 安全のために、アースを取るようにしてください。なるべく他の機器とは別のアースを使用してください。
ヒューズホルダ	: タイムラグ1Aを使用します。他のものは使用しないでください。交換時にはプラグをコンセントから抜いて行ってください。
コンセント	: オプションのプリンタのACアダプタを接続します。
測定部コネクタ1	: 高さを計るケーブルです。
測定部コネクタ2	: 重さを計るケーブルです。

拡張端子 : RS-232C準拠のインターフェースです。オプションのプリンタ、コンピュータ等を接続します。

付属品	
電源ケーブル	: 表示器とAC電源のコンセントに接続します。1セット。 AX-KO115, ET:9102
ヒューズ	: タイムラグ1Aです。1本。 FS:EAWK-1A
六角皿ねじ	: ボール用トメねじ。M5×10 4本。
六角棒スパナ	: 3mm 1本。
取扱説明書	: 1冊。

3. 設置方法

ボールと計量台、表示器が分解された状態で梱包されています。組み立ててご使用ください。

使用場所の注意

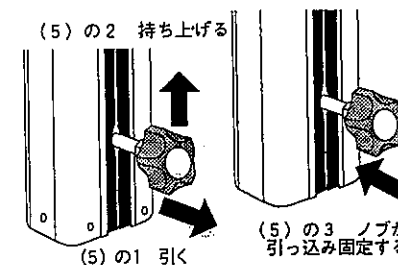
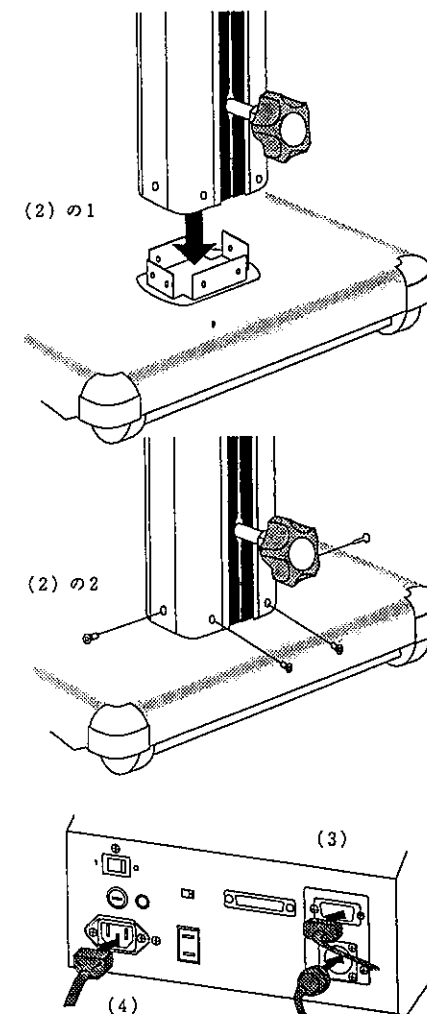
次のような場所では使用しないでください。
測定誤差、故障の原因となります。

- 高温多湿な場所
- 直射日光の当たる場所
- 急激な温度差のある場所
(エアコン、ストーブの近くなど)
- ほこり、ゴミの多い場所
- 床が振動などで不安定な場所
- 障害物のある場所
- AC電源のタコ足配線がされている場所

組み立て

- (1) 堅牢な所に身長体重計を置き、足コマで計量台のがたつきをなくしてください。
- (2) 計量台にボールを差し込み、ネジで固定します。
- (3) 表示器にボールからのケーブルを接続します。
- (4) AC電源ケーブルを接続します。
- (5) ボールのノブを引っ張り、ボールを延ばします。

オプションのプリンタをご使用の場合、ケーブルを接続し、ファンクション設定を行なってください。



4. 操作方法

ご使用中のお願い

- 身長体重計は精密機器ですので、取り扱いには充分ご注意ください。
- 足型にあわせ、正しい姿勢でお乗りください。
- 計量台には静かに乗り降りしてください。
- ボールを確実に固定してからご使用ください。
- ボールによりかかるなど、強い力をかけないでください。

操作手順の概略

操作の概略は以下のようになっています。

- ① 電源オン
 - ② リセット
 - ③ 体重最小表示の切り替え
 - ④ 着衣重量の設定
 - ⑤ 表示の選択
 - ⑥ 年齢・性別の設定
 - ⑦ 計量台に乗る
 - ⑧ 体重の測定 (ゆらさないように注意)
 - ⑨ 身長測定 (カーソルに注意)
 - ⑩ 外部装置 (プリンタ等) へ測定データを出力
 - ⑪ 測定終了・計量台から降りる
- 現在の設定でよい場合は次へ進みます。
- 表示の選択が体重のみの場合は次へ進みます。

各操作手順の説明

① 電源オン

計量台の上に何も乗っていない状態にして電源スイッチを入れます。表示がすべて点灯します。カーソルが上端に戻り、内部動作の安定後、測定可能な状態になります。準備完了の合図として、ブザーが“ピピッ”と鳴ります。

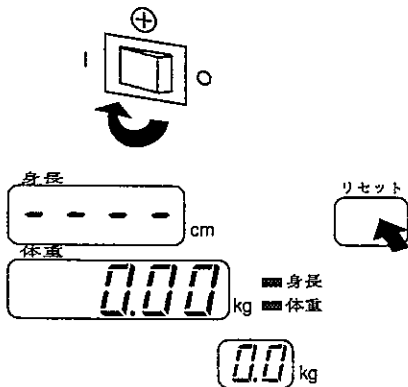
② リセット

お願い 測定前には、必ずリセットキーを押すようにしてください。

- リセットキーが押されると、次の測定のための準備を行いません。
- *体重計量部は、現在の重量をゼロとして補正します。
- *身長計測部は、カーソルをボール上端に復帰させます。

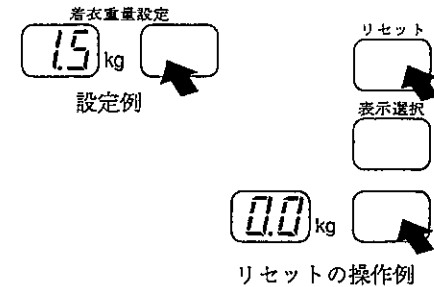
③ 体重最小表示の切り替え

用途に応じ、体重の最小表示を0.1kgと0.05kgのどちらかに切り替えることが出来ます。表示器後面のスライドスイッチを切り替えてください。



④ 着衣重量の設定

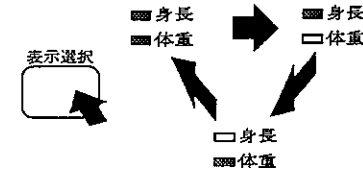
着ている服の重さをあらかじめ設定しておき、測定重量から引くことにより、正味の体重を求めさせるものです。設定されている着衣重量はパネルに表示されています。設定は0.1kg単位で、0.0kgから9.9kgまで設定できます。着衣重量設定キーを押すと、着衣重量が0.1kgずつ増えます。キーを押しつづけると早送りします。着衣重量設定キーとリセットキーを同時に押すと、一瞬で0.0kgに戻ります。電源オン時に何kgとするかは、ファンクションで設定できます。



⑤ 表示の選択

目的に応じ、表示させる内容を選択します。選択は表示選択キーを押すとパネルに表示され、3種類の表示の組み合わせが選択できます。また、電源オン時にどれを選択するかはファンクションにより設定できます。

- ・身長・体重 : 身長・体重を測定し、表示します。
- ・身長 : 身長・体重を測定しますが、体重、肥満度判定は表示しません。周囲の人に体重を知られたくないときに使用できます。(プリンタやコンピュータには出力されません。)
- ・体重 : 体重のみ測定し、表示します。体重計として使用できます。



⑥ 年齢・性別の設定

被測定者の年齢・性別を設定します。設定することによって厚生省策定「肥満とやせの判定表」に基づく肥満度判定を行います。設定状態は、各キーのランプ点灯により確認できます。電源オン時の初期状態は、ファンクションで設定できます。

- ・年齢 : 該当する年齢のキーを押します。
- ・性別 : 男性・女性のいずれかのキーを押します。

注意 なお、19才以下の場合、判定は行われません。判定が不要の場合、なし(～19才)を押してください。

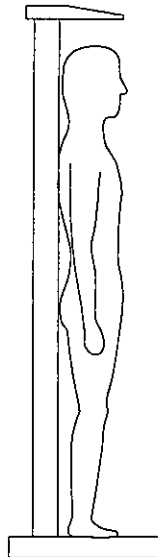
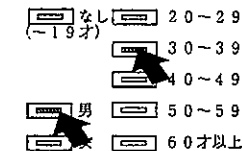
⑦ 計量台に乗ります

足型にあわせ、正しい姿勢でお乗りください。

⑧ 体重の測定

注意 計測中は計量台をゆらさないでください。重量が安定するまで次に進みません。

*表示選択を体重のみにしている場合、重量の安定を検出するとブザーが“ピピッ”と鳴り、測定は終了します。



⑨ 身長測定

- ・“ピッ”と鳴った後、カーソルが降りてきます。正しい姿勢でお待ちください。
- ・頭部にカーソルが当たり、“ピッ”と鳴って、測定終了を知らせます。
- *プリンタが接続されている場合、カーソルが頭に接した時点で測定データ等が印字されます。

注意 カーソル移動中は頭にカーソルをぶつけないよう頭を動かさないでください。また、測定誤差がないよう顔を正面に向け、頭を動かさないでください。

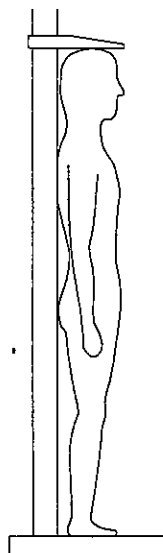
⑩ 外部装置（プリンタ等）へ測定データを出力

オプションのプリンタを接続すると、測定結果を印字することができます。

注意 接続する前には、必ずすべての機器の電源をオフにしてください。接続後、ファンクション設定を行なってください。各プリンタの取扱説明書もあわせてご覧ください。

⑪ 測定終了・計量台から降りる

カーソルが戻り、“ピッ”と鳴って測定終了です。



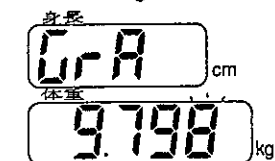
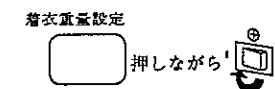
5. 各種機能

5-1 重力加速度設定

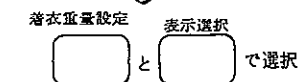
使用する場所により重力加速度が変化するため、体重表示にずれが生じることがあります。正確な測定結果を得るため、使用場所の重力加速度を設定してください。使用場所と重力加速度の関係は、重力加速度マップをご覧ください。

重力加速度の設定方法

- ① 一旦電源オフにしてください。着衣重量設定キーを押しながら電源スイッチをオンにしますと、GrAと現在設定されている重力加速度が表示されます。



- ② 設置している場所の重力加速度に着衣重量設定キー及び表示選択キーで合わせてください。別紙の重力加速度マップを参照してください。着衣重量設定キーを押すと、点滅している桁の数字が1ずつ増えます。表示選択キーを押すと、点滅している桁が移動します。



9.798から9.805への変更例



- ③ 重力加速度を合わせたら、リセットキーを押してください。Endと表示します。



- ④ 通常の計量に戻るには一旦電源スイッチをオフにしてください。



5-2 ファンクション設定

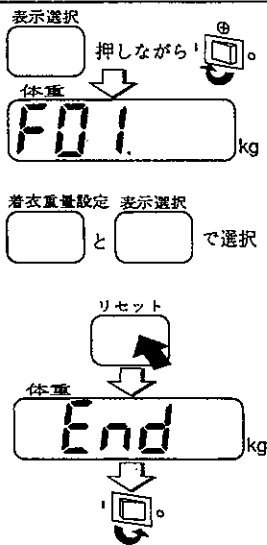
ファンクションはご使用方法に応じ、電源オン時の状態や、測定方法、外部機器の接続方法を設定します。これらをまとめてファンクション設定と呼びます。設定できるファンクションには以下の物があります。

設定項目	設定の確認箇所	設定内容
F01	<input type="checkbox"/> 身長* <input type="checkbox"/> 体重*	電源オン時の表示選択 身長+体重* 身長 体重
F02	着衣重量設定表示	電源オン時の着衣重量 0.0kg* ~ 9.9kg
F03	<input type="checkbox"/> 男*	電源オン時の性別 男* または 女
F04	<input type="checkbox"/> ~19才* S <input type="checkbox"/> 60才~	電源オン時の年齢 ~19才(なし)* 20才~29才 ~ 60才~
F05 0	F05 0*	肥満度判定の際、判定表の範囲(130~190cm)外で判定をする。*
F05 1	F05 1	肥満度判定の際、判定表の範囲(130~190cm)外で判定をしない。
F06 0	F06 0	ホールドの解除をリセットキーで解除するかまたは、次回測定時に自動解除する。
F06 1	F06 1*	ホールド後約30秒で自動解除する。*
		RS-232Cインターフェースの機能
F11 0	F11 0	オートモード
F11 1	F11 1	コマンドモード(ターミネータCR+LF)
F11 2	F11 2	コマンドモード(ターミネータCR)
F11 3	F11 3*	AD-8120モード*
F11 4	F11 4	AD-8121モード
		RS-232Cインターフェースのボーレート
F12 0	F12 0	9600 bps
F12 1	F12 1	4800 bps
F12 2	F12 2*	2400 bps*
F12 3	F12 3	1200 bps
F12 4	F12 4	600 bps

表中の * は出荷時設定です。

ファンクションの設定方法

- 一旦電源をオフし、表示選択キーを押しながら電源スイッチを入れます。するとFun[と表示し、設定モードに入ります。
- 表示選択キーと着衣重量設定キーを使って必要な設定に変更します。表示選択キーは設定したいファンクションを選びます。着衣重量設定キーは設定値を変更します。
- 設定がすべて終わったら、リセットキーを押して、電源スイッチを切ってください。設定は、次回電源スイッチを入れたとき有効になります。



5-3 肥満度判定

測定前に設定した年齢・性別と、測定した身長・体重から、厚生省策定の「肥満とやせの判定表」に基づき、肥満度を5段階で表示します。なお、「肥満とやせの判定表」は20才以上、身長130cmから190cmまでを対象としているため、年齢設定が~19才の時は判定を行いません。ただし、身長が範囲外の場合は、判定表から計算により判定を行なって表示することもできます。身長が範囲外の場合、判定なしとするか、計算により判定を行なうかはファンクションにより設定することが出来ます。
*範囲外の身長で計算により判定を行なった場合、判定精度が低下する事がありますので、目安としてご覧ください。

- ふとりすぎ
- ふとり
- ふつう
- やせすぎ
- やせ

5-4 身長計測レンジの切り替え

身長計測の範囲は、120~220cm、100~200cmと60~160cmの3段階切り替えになっています。ボール後部のノブをひっぱり、ボール上部を持ってスライドしてください。正しい位置に来ると、ノブがカチッと引っ込んで固定されます。設定後は、ケーブルが周囲に引っ掛かっていないことを確認後、リセットキーを押してください。

5-5 表示ホールド

測定した値を読みやすくするため、測定が終わった後も、身長・体重は表示されつづけています。これを表示ホールドと呼びます。表示ホールドは、リセットキーを押すか、次の人が計量台に乗ることで自動的に解除されます。また、ファンクションの設定により、人が降りてから約30秒後に自動的に解除させることもできます。ホールド中は表示選択、着衣重量など、表示機能の設定の切り替えはできません。リセットキーで表示ホールドを解除してから設定してください。

6. プリンタの接続

オプションのプリンタを接続すると、測定結果を印字することが出来ます。接続する前には、必ずすべての機器の電源をオフにしてください。接続後、ファンクション設定を行なってください。各プリンタの取扱説明書もあわせてご覧ください。

AD-8120の接続

AD-8120底面のディップスイッチを下図のように設定してください。



AD-6225A後面の拡張端子とAD-8120後面のシリアル入力用コネクタを、AD-8120付属のケーブル(KO:728-150)で接続してください。AD-8120付属のACアダプタをAD-6225A後面のコンセントに差し込み、AD-8120に接続してください。接続後、AD-6225Aのファンクションを、「F11=3、F12=2」に設定してください。

AD-8120の印字

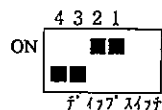
AD-6225A及びAD-8120の電源をオンにした後、AD-8120のONLINEキーを押し、ONLINEランプを点灯させてから測定してください。測定結果が次項のように印字されます。

性別、年齢	セイブツ:オナ	ネンレイ:20'29才
身長	シンチョウ	163.9 cm
体重	タイジュウ	49.60 kg
肥満度判定	ヒマンド'ルンテイ	ヤセキ'ミ
肥満度の範囲	ヤセキ'ミ/ルンテイ	47.3~50.9 kg
平均体重	ヘケンタイジュウ	55.5 kg

紙を送りたいときは、AD-8120のONLINEキーを押し、OFFLINEランプを点灯させてからP.FEEDキーを押し紙を送り、その後ONLINEキーを押しONLINEランプを点灯させてください。

AD-8121の接続

AD-8121側面のディップスイッチを下図のように設定してください。



AD-6225A後面の拡張端子とAD-8121側面の入力用コネクタを、AD-8121付属のケーブルで接続してください。AD-8121付属のACアダプタをAD-6225A後面のコンセントに差し込み、AD-8121に接続してください。

接続後、AD-6225Aのファンクションを、「F11=4、F12=2」に設定してください。また、AD-8121の日付及び時刻を設定しておいてください。(設定方法はAD-8121の取扱説明書を参照してください。)

AD-8121の印字

AD-6225A及びAD-8121の電源をオンにした後、AD-8121のDATAキーを押し、ONLINEランプを点灯させてから測定してください。測定結果が下図のように印字されます。

日付	DATE 92/03/10
身長	HT 163.9 cm
体重	WT 49.60 kg

紙を送りたいときは、AD-8121のFEEDキーを押してください。

7. コンピュータ等の接続

RS-232Cインターフェースを持ったコンピュータ等に接続し、測定結果の集計等が行なえます。AD-6225A及びコンピュータの電源をオフにし、表示器後面の拡張端子とコンピュータを、市販のモデム接続用ケーブルにて接続してください。使用方法として、測定終了時に身長・体重データを自動出力する「オートモード」とコンピュータからのコマンドに応じて動作する「コマンドモード」があります。

インターフェース仕様

伝送方式	: EIA RS-232Cに準拠、DCE接続
伝送形式	: 調歩同期 (非同期)
ボーレート	: 600、1200、2400、4800、9600から選択
スタートビット	: 1ビット
データビット	: 7ビット
パリティビット	: EVEN
ストップビット	: 1ビット
使用コード	: ASCII
ターミネータ	: AD-6225A送信=CRLF、AD-6225A受信=CR又はCRLF選択
適合コネクタ	: HDB-25P+HDB-CTF (ヒロセ電機) など

ピン接続

ピン番号	信号名	機能	信号方向 (AD-6225Aから見て)
1	FG	シールド	—
2	RXD	AD-6225A受信データ	入力
3	TXD	AD-6225A送信データ	出力
4	RTS	5番とショート	入力
5	CTS	4番とショート	出力
6	DSR	常時オン	出力
7	GND	GND	—
8~25 NC	接続なし		

データフォーマット

AD-6225Aから送信されるデータは、以下のようなフォーマットになっています。

身長データ

HT,+0163.9 cm<CRLF>	;正しい身長データ
OL,+9999.9 cm<CRLF>	;エラー発生時
HT,+0000.0 cm<CRLF>	;身長未測定時

体重データ

WT,+049.60 kg<CRLF>	;正しい体重データ (最小表示0.05kg時)
WT,+0049.6 kg<CRLF>	;正しい体重データ (最小表示0.1kg時)
OL,+999.99 kg<CRLF>	;エラー発生時
US,+049.55 kg<CRLF>	;安定していないときアクノリッジ
<ACK>	;コマンド受け付けの合図として送信エラーコード
EC,E0<CRLF>	;通信エラー
EC,E1<CRLF>	;コマンド名の誤り
EC,E2<CRLF>	;実行不能エラー

オートモード

ファンクション設定で、「F11=0」に設定してください。また、コンピュータにあわせてボーレートを「F12」に設定してください。測定終了時、測定結果を身長データ、体重データの順で1回送信します。

*表示選択が「体重のみ」になっている場合、身長データは送信されません。

コマンドモード

ファンクション設定で、「F11=1」または「F11=2」に設定してください。また、ボーレートを「F12」に設定してください。コンピュータからのコマンドを受信し、指定された動作を行ないます。 *<TERM>はターミネータです。F11=1のとき<CRLF>、F11=2のとき<CR>を送信してください。

コマンド	内容
?HT<TERM>	身長データの要求。身長データを返します。
?WT<TERM>	体重データの要求。体重データを返します。
?HW<TERM>	身長・体重データの要求。身長データ・体重データを連続して返します。
R<TERM>	リセットキー。リセットキーを押したときと同じ動作をします。 コマンド受付時、<ACK>を返します。 リセット動作終了後、<ACK>を返します。

コマンド処理でエラーが発生した場合、エラーコードを返します。

EC,E0<CRLF>	通信エラー（パリティ、データ長などの誤り）
EC,E1<CRLF>	コマンド名の誤り
EC,E2<CRLF>	実行不能エラー（表示選択が体重なのに身長を要求した等）

8. エラー表示

測定時に不都合があった場合、下記のようなエラーが表示されます。

重量表示 E	秤量オーバーではありませんか？
重量表示 -E	計量台が何かに当たっていませんか？
身長表示 Err 0	ボールは正しい位置に確実に固定されていますか？
身長表示 Err 1	身長計の測定範囲を越えています。
身長表示 Err 2	カーソルが障害物に引っ掛かっていませんか？

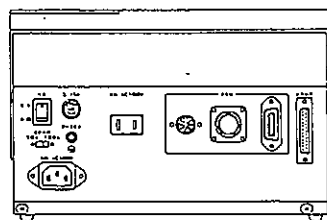
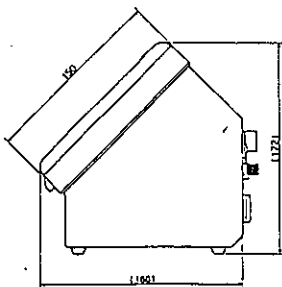
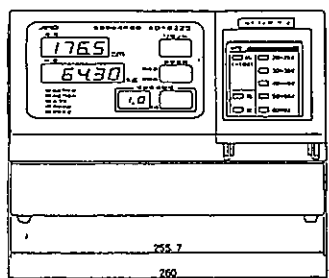
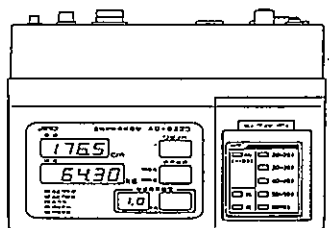
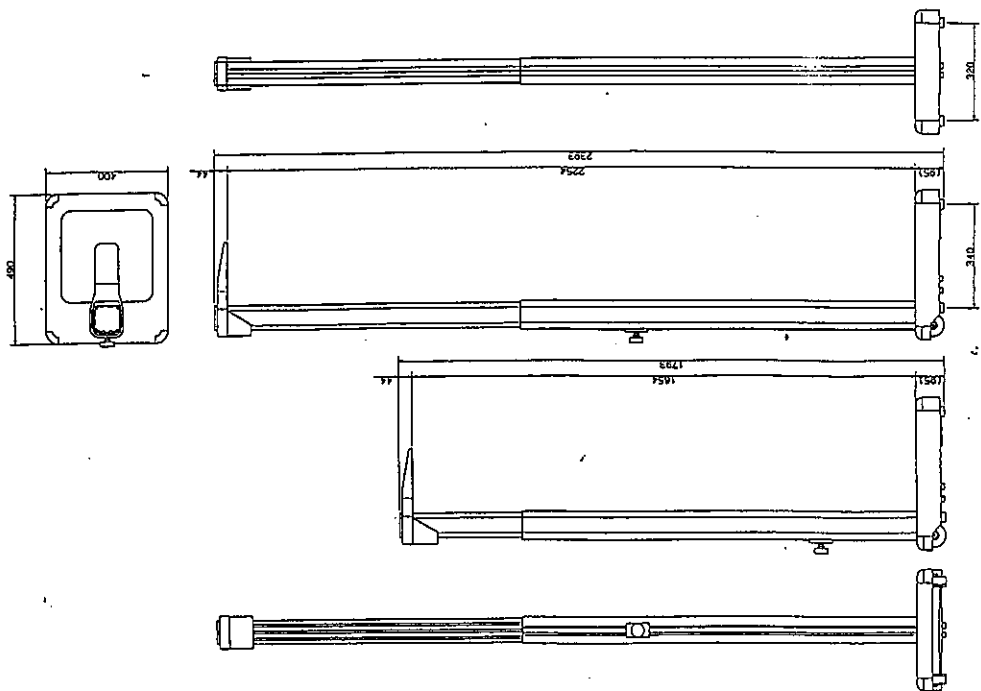
原因がはっきりした場合は、それを取り除いてからリセットキーを押してください。身長計測エラーが発生した場合、リセットキーを押すまで次の測定はできません。

9. お手入れ

- ・乾いた布をお使いください。汚れがひどい場合は、中性洗剤に浸し、硬く絞った布で拭いた後乾いた布で拭き取ってください。
- ・シンナー、ベンジン等の有機溶剤は使用しないでください。
- ・お手入れの際はAC電源ケーブルを抜いてから行ってください。

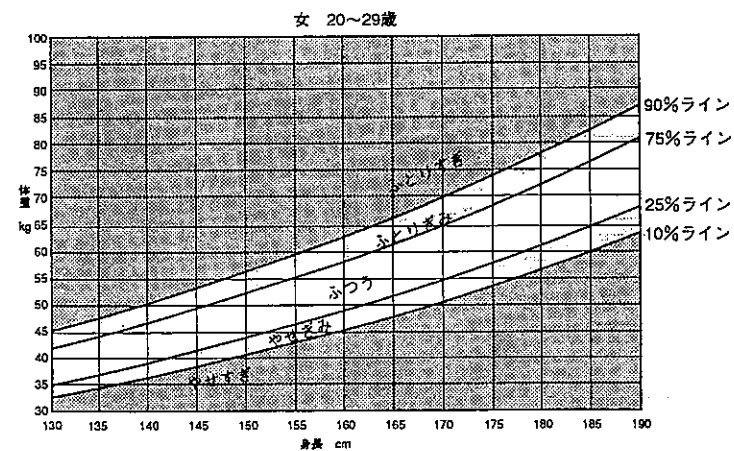
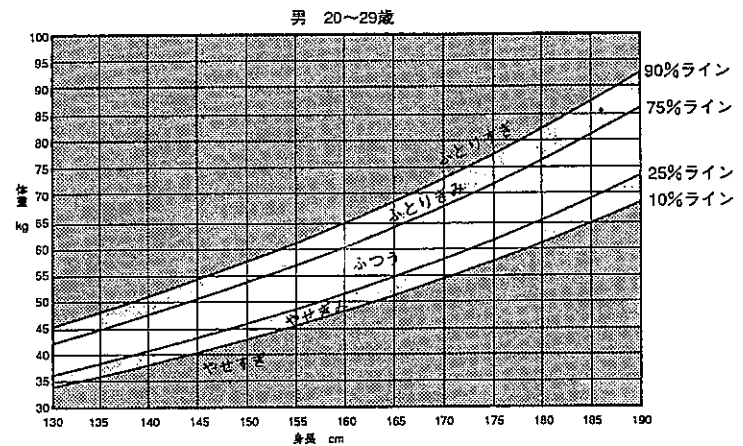
10. 仕様・外形図

身長部	
検出方法	透過式フォトインタラプタ方式
測定範囲	120cm～220cm/100cm～200cm/60cm～160cmの3段伸縮式
最小表示	0.1cm (1mm)
精度	±2mm
表示	4桁LED表示 文字高14mm
体重部	
測定範囲	0～250kg
最小表示	0.1kg (100g) / 0.05kg (50g) の切り替え
精度	±0.1kg (±0.05kg)
表示ホールドの範囲	5kg～250kg
着衣重量の設定範囲	0～9.9kg 0.1kg単位
体重表示	4桁LED表示 文字高14mm
着衣重量表示	2桁LED表示 文字高10mm
機能	
表示選択	身長+体重/身長/体重から選択可能
肥満度	厚生省策定（昭和61年）の「肥満とやせの判定表」より、ふとりすぎ、ふとりぎみ、ふつう、やせぎみ、やせすぎの5段階をLEDランプで表示
使用温度	0～40℃
電源	AC100V 50/60Hz
重量/外形寸法	計量部 約30kg/400(W)×490(W)×2400(H)mm 台105(H)mm 表示部 約3kg/260(W)×168(L)×169(H)mm
出力形式	RS-232C準拠、オプションのプリンタ又はコンピュータと接続可
材質	ボール アルミ 計量台 鉄板 カーソル ABS樹脂・鉄板
付属品	電源ケーブル
オプション	プリンタ AD-8120 身長・体重・肥満度判定の印字可 プリンタ AD-8121 日付・身長・体重の印字可

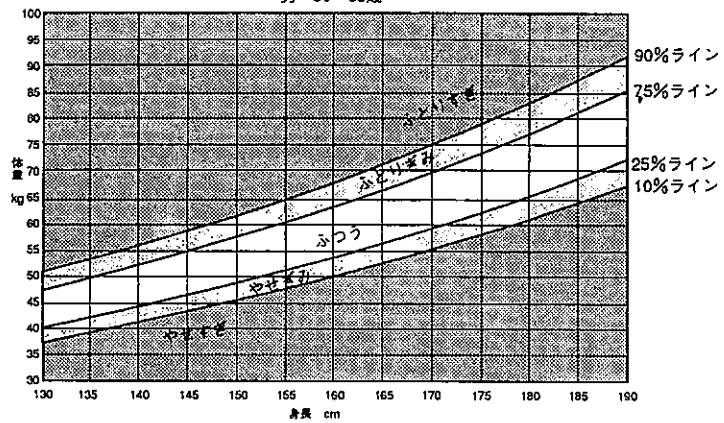


11. 肥満とやせの判定図

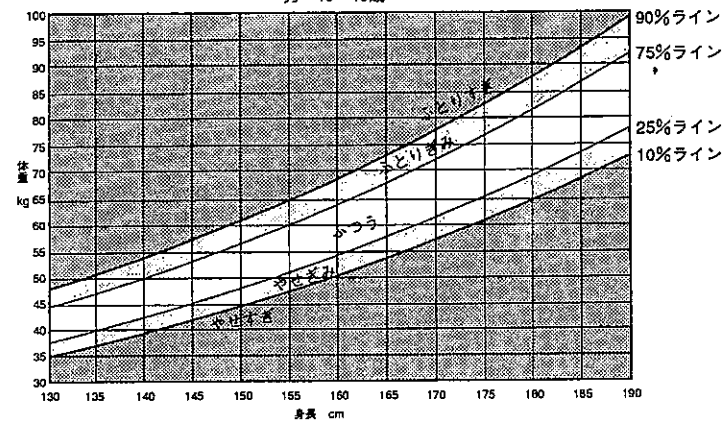
厚生省策定（昭和61）の「肥満とやせの判定表」に基づく図です。



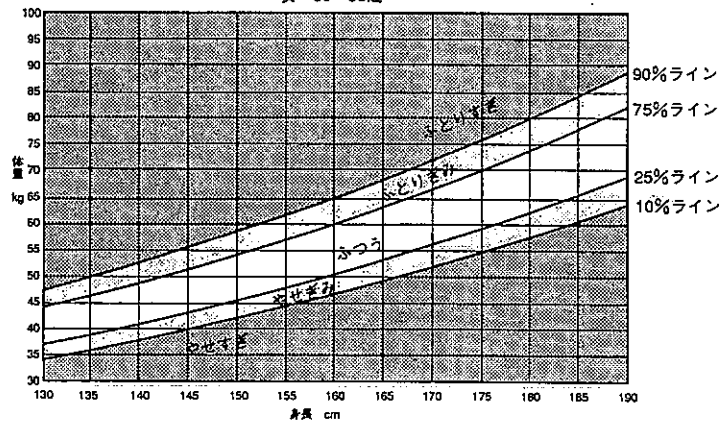
男 30~39歳



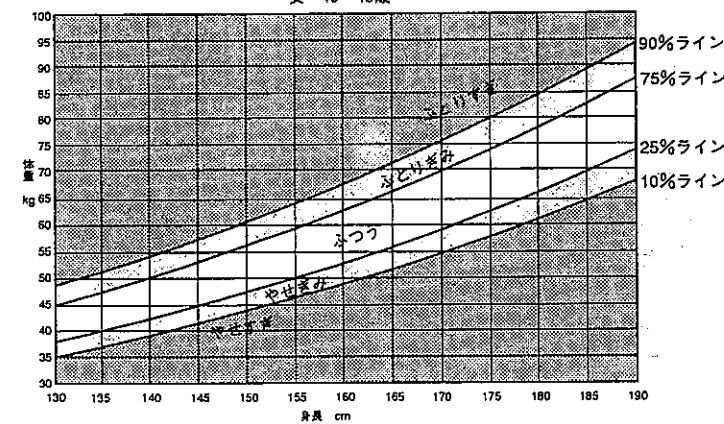
男 40~49歳

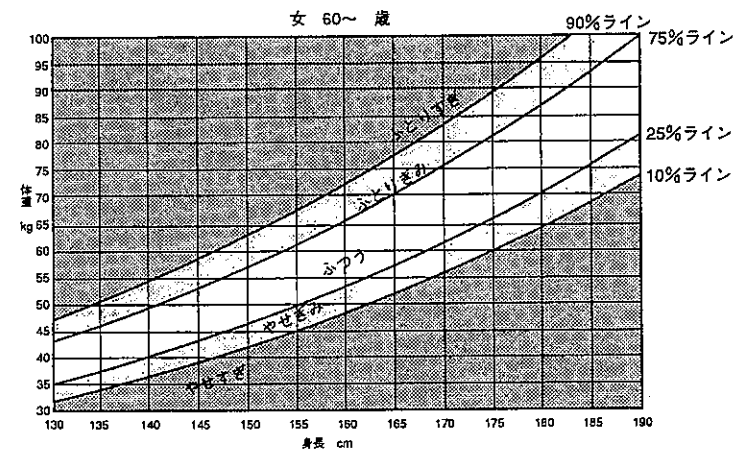
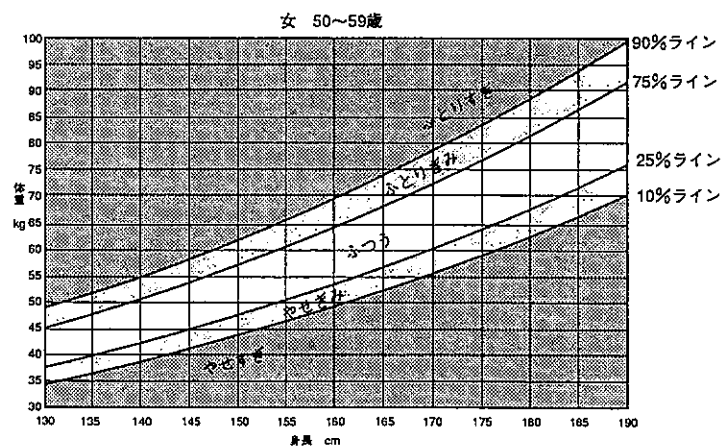
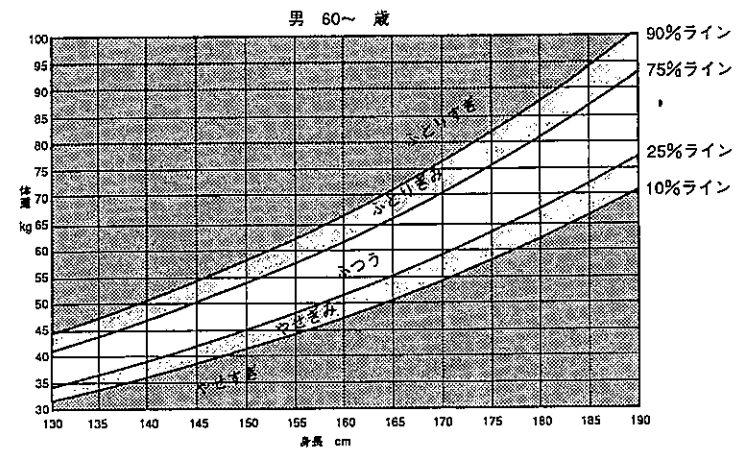
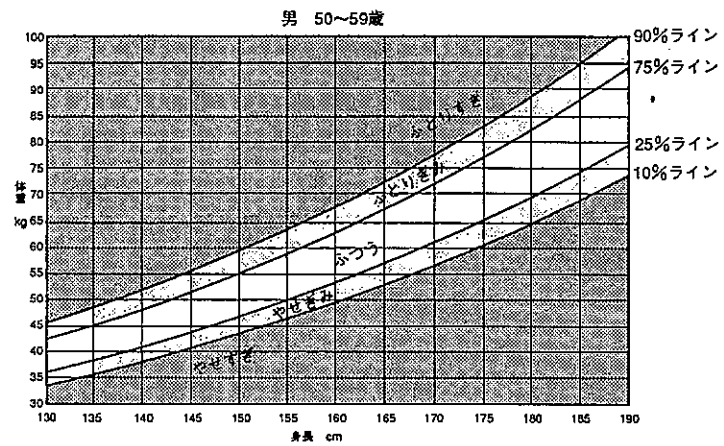


女 30~39歳

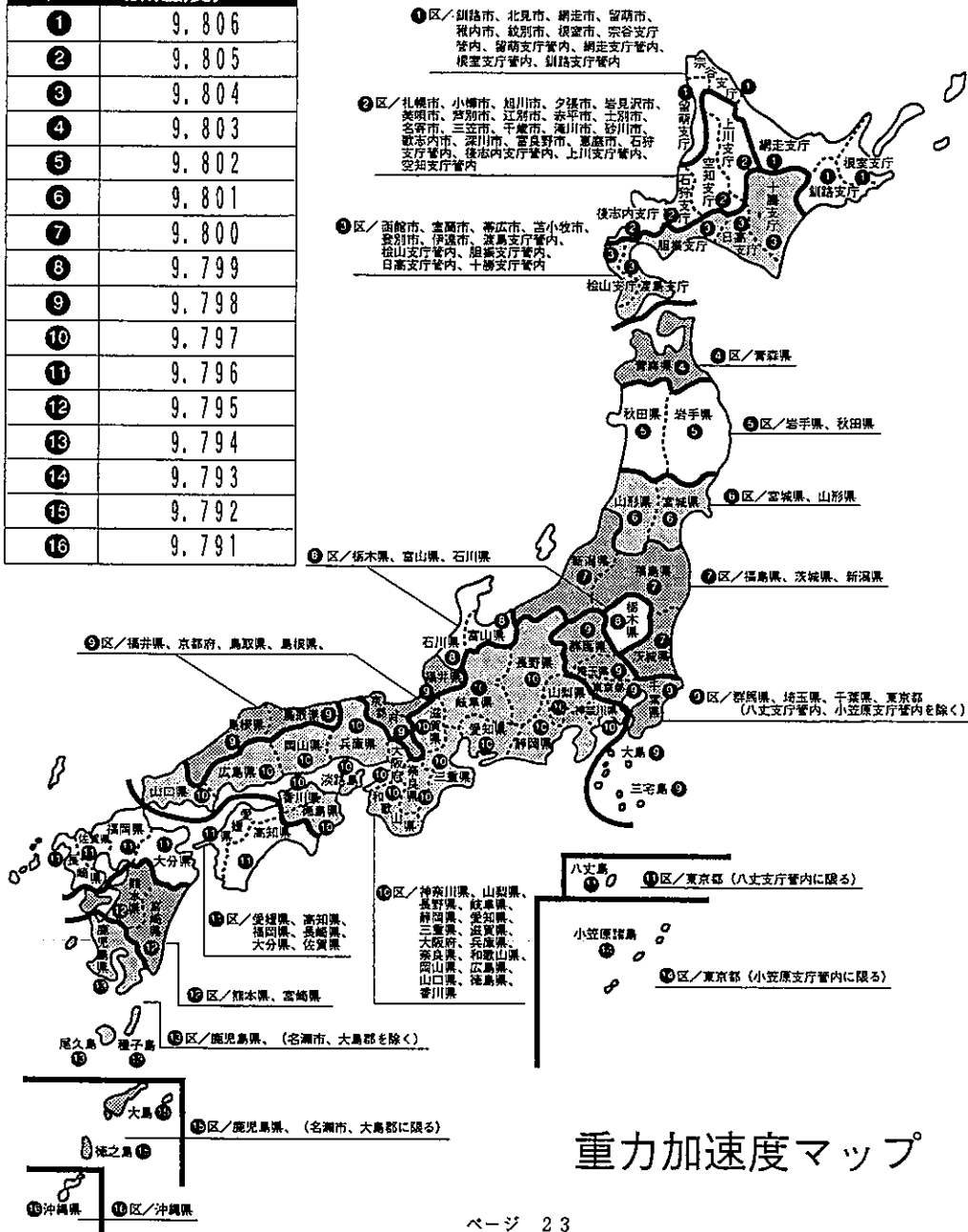


女 40~49歳





区	加速度
①	9.806
②	9.805
③	9.804
④	9.803
⑤	9.802
⑥	9.801
⑦	9.800
⑧	9.799
⑨	9.798
⑩	9.797
⑪	9.796
⑫	9.795
⑬	9.794
⑭	9.793
⑮	9.792
⑯	9.791



重力加速度マップ